



発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会<http://www.koguma.ed.jp>

►「もちまるめ」体験をしている様子です。頑張って丸めています。

▼きなこ、ぜんざい、雑煮、大根おろしなどで、お餅を楽しみました。



12月21日(日) もちつき大会 を開催しました



こども臼でお餅つきをしている様子です。
みんな一生懸命ぺったんぺったんと杵でついていました😊



放課後等デイサービス「中高生クラブ」

中高生クラブ

放課後等デイサービス「中高生クラブ」の令和7年の最後の活動は、共同作業のクッキングでスポーツ的な「餅つき」を行いました。年末恒例の活動になっています。そこで、「中高生クラブ」にどんな思いで来ているか？参加する仲間達の心の窓を覗いて実況します。

◇としのぶさん「楽しいですよ！餅ついたり、とても楽しいし初めて会った子でも仲良くなれたんで良いと思つてますよ。楽しいですよ、人の関わりとか・・・」

☆好きな餅の食べ方は、あんこです。

◇ゆうやさん「とても楽しい。作つたり、話したり。仲深まつたりとか。作つたりは、上手に作れない人も一

緒に楽しくできる」「作つたもので印象深いのは？」まづくろくろすけ・ふさふさしてめっちゃ気持ち

良い、後は芋をとつたり。」「学校は）作るのがないとか・・・何かがないような気がする・・・感情は・・・学校は楽しいはあるけど・・・（こぐらかつた」「手が疲れた」「杵がおもしろかった」等が聞かれました。（こぐまクラブ担当 福田）か？」

☆好きな餅の食べ方は、砂糖醤油かな・・・餅入り味噌汁がヒット。



まくろ
くろすけ

私が食に興味を持ち始めたのは小学生の時、読んでいた『わかったださん・こまつたさん』シリーズの本です。本を読んでは、姉とチャレンジして作っていました。食べることはもちろん好きですが、作ることの楽しさや食べてもらう喜びを感じていました。それから自分の体が食べ物でできるということを学び、今の私があるのではないかと思います。

私はとつて、こぐま福祉会での学びはとても多く、過敏で食べ物が食べられないお子さんやクッキングでパン作りを経験し、食べられるようになつたお子さん、お一人おひとりの食事提供の難しさはありますが、「おいしい」の表情でやりがいを感じています。今後もみなさんに安心していただける食事提供に努めています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

皆様にとつても希望と幸せに満ちた一年となりますようお祈り致します。（理事長 佐藤 英二）

◇しようさん「楽しい、交流とかできたから。自分からあんまりしない料理とか出来るから楽しい。友だちと話す機会も多いから楽しい」

☆好きな餅の食べ方は、餅入りわかれステープがヒット。

◇こたろうさん「楽しい。友だちが多いから賑やか」「（楽しめた活動は？）競争系、電池の残量みるやつ」

※解説 電池残量チェックカーで使用済み電池の残量チェックを行い、速さ、正確さを競つた作業的スポーツ。

☆好きな餅の食べ方は、あんこ餅、餅入りワカメステープ。

◇しゅんさん「楽しい。いろんな事ができる」「（楽しんだ活動は？）ブーメラン」

※（解説）制作でブーメランを作りました。しゅんさんのブーメランはかなり飛びすぎて、こぐま学園の屋根の向こうに飛んでいつて見えなくなつてしましました。クラブのみんなもビュン！とそれぞれの夢の高みに向かつて飛び上がつてください！



栄養士
なかの
中野

みなさんこんにちは。給食課で栄養士をしています中野と申します。簡単ではございますが、少し自己紹介をさせていただきます。

こぐま福祉会に入職して早いもので

10年になりました。きっかけは、こぐまに通うご家族の方から「こぐまは、温かいのある場所だよ。」と勧められ、入職しました。

私が食に興味を持ち始めたのは小

学生の時、読んでいた『わかったださん・こまつたさん』シリーズの本です。本を読んでは、姉とチャレンジして作つてきました。食べることはもちろん好きですが、作ることの楽しさや食べてもらう喜びを感じていました。それから自分の体が食べ物でできるということを学び、今の私があるのではないかと思います。

葉があります。「天の時、地の利、人の和」という言葉があります。「天候条件」「地理的条件」「人々の想いや協力」の3つの要素を表しています。そしてどんな良い条件でも人々の団結や協力、いわゆる「人の和」が最も大切と考えられ、この条件が揃うことが大事を成し遂げる上で大切だということです。今回建設設計画を進めるにあたり、多くの関係者の方々のご理解、ご支援、ご協力を賜り、まさに「人の和」により大きな計画が進んだと実感をし感謝しております。

餅つきの感想としては、「腕が痛くなつた」「楽しかつた」「おもしろかった」「手が疲れた」「杵がおもしろかった」等が聞かれました。

「（こぐまクラブ担当 福田）

令和八年新年





きらきら笑顔の
金メダル★

（運動会係 覚知）

準備体操の「地球をどんどん」から始まり、かけっこや運動遊びなどを行いました。大好きなご家族がゴールで待つかけっこでは、それぞれのペースで一步一步、確実に前に進む子ども達の姿がみられました。真剣な表情の子、緊張で涙が出てしまう子、ゴールのご家族を見て笑顔になる子、それを見守るご家族の温かい表情に、

張で涙が出てしまう子、ゴールの私達スタッフも温かい気持ちになりました。子ども達の好きなことや得意なことが沢山詰まつたグルーピ別競技では、子ども達が日々の療育で積み重ねた「楽しい！」、「好き！」、「出来た！」を、ご家族の方も一緒に体感できたのではありませんかと思思います。

日（日）に児童発達支援センター「ゆう」「はぐ」の運動会が開催されました。

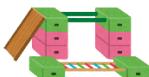


大好きなママにゴール！



たかくあがれ～♪

天まで届け、123～！



ゴールまであと少し！

（マラソン大会係 日比生）

みんなでゴール目指して☆

11月21日（金）に小郡市陸上競技場にて、児童発達支援センター「ゆう」「はぐ」のマラソン大会を行いました。昨年は雨天のため中止となりましたが、今年はお天気にも恵まれ、青空の下で2年ぶりに開催することができました。マラソン大会では、400mのトラックを子どもたちに合わせた距離や方法で、ゴールを目指して走りました。子どもたちが頑張ってきた成果を、一人ひとりが主役になつて披露してくれた姿に、私たち職員もたくさんの成長や感動を感じることができました。また、自分たちで作った応援グッズで色々なグループのお友だちを応援する様子もあり、みんなが一緒に楽しむことも経験できた行事でした。

参加した子どもたちにとって、チャレンジする中で達成感や自信に繋がつたイベントになつていれば幸いです。



ゴール!!



